

小国マルタ共和国の取り組み。規制を通じたイノベーション

国際社会経済研究所 (NEC)グループ主任研究員



小林 憲司

その監督当局の設立、仮想金融資産サービス(VFA)を規制する三つの法律を制定した。特徴は、世界で初

リスクの最小化

現在、世界はデータ駆動型のデジタル社会の実現に向け動きだしている。一方で中核技術となる人工知能(AI)や分散台帳技術(DLT)は、社会シ

ステムに大きな影響を及ぼす破壊的なイノベーションであるため、個人情報流出や金融詐欺など社会を混乱させる問題が起きている。デジタル社会に移行するには、利用を促進しつつもリスクを最小化する包括的な法規制の

高い経済成長率を誇る。ここ数年はブロックチェーン(分散型台帳)やオンラインカジノなど欧州における新興デジタル産業のビジネス拠点として注目を集める。その新興産業政策の柱となるのが「政府主導の規制を通じてイノベーション」だ。

法的枠組み

2018年11月にブロックチェーン産業をめた包括的なアプローチを「近いうちにD

マルタ共和国が進める新興産業政策 規制を通じたイノベーションの事例

Table with 3 columns: 注力する新興産業, 最近の関連する法規制, 主要な成果. Rows include FinTech, Gaming, and Medical Cannabis.

厳格な法規制で安心感

主導の厳格な法規制は与えており、同国に多くの市場関係者に安心感を与えている。

企業を集めている。18年はハイテクグローバル企業を規制対象とした取り組みは、国際的に通用する。二つ目は短期間で数の取引量を誇るの法整備。着手してから1年後には法案化するスピード感がある。規制の重要性が高まると見ており、関連ツールにも世界に先駆けて新興産業の誘致に成功している。

先見の明

特にこの先見性は小国ゆえの危機に備える独特の「先見の明」があり、すぐにまねできる。EU各国もマルタをロールモデルとしてVFAの法整備に動いており、小国マルタの取組は大きく変わるだろう」と見据える。次回は同国のAI戦略を紹介する。(金曜日に掲載)